

繊維企業の先端環境事業

世界でも貢献

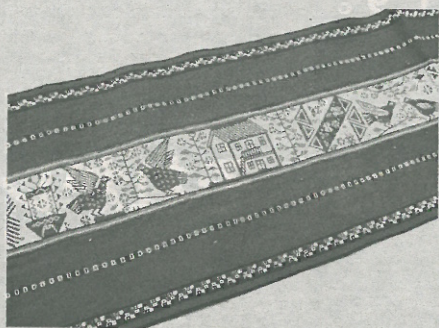
オーガニック綿糸など環境に優しいモノ作りを推進してきた大正紡績。改めて原点に回帰し、ト

「エンバイラメント」ド

こうした取り組みから

大正紡績

“顔の見える”モノ作り ペルー綿糸「タキーレ」を



「タキーレ」を使って再現した
鮮やかな発色のタキーレ織

レーサビリティを確立した「顔の見える」モノ作りを強化する。新商品としてペルー綿糸「タキーレ」シリーズも打ち出した。

針だ。近年、食品の誤表示問題など消費者の信頼を裏切りかねない事件が起こっているだけに、大正紡績では改めて原点に立ち返り、綿花栽培農家に配した「チチカカ70」、

フラマチック 新商品も登場した。ユニ・ストーリー スコの世界無形文化遺産「メードイ」の伝統織物「タキーレ」に使用される綿糸を「これがモディファイした「タキーレ」だ。白度に優れるペルー産超長綿であるデルセロ種を使用したもの。原綿の白度を生かし、染色後の鮮やかな発色が特徴だ。獣毛調の膨らみ感やタッチも特色となる。デルセロ100%の単

同社が重視するのが、「トレーサビリティ」で消費者に「顔の見える」モノ作りを進めている。3種類をラインアップす

デルセロとアスペロの混

綿タイプ「ラパス65」の

「サスティナビリティ」モノ作りを進めている。

3種類をラインアップす

こうした取り組みから